

令和8年度 田村西部環境センター(焼却施設の維持管理の状況に関する情報)

1. 処分した一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量

種類	項目	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
可燃ごみ (家庭系・事業系)	焼却量	t(ト)	371.1												371.1
	合計	t(ト)	371.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	371.1

2. 燃焼室中の燃料ガス温度、集じん器に流入する燃焼ガス温度、煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素濃度(連続測定の日平均値)

		単位	基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
燃焼室中 燃焼ガス温度	焼却炉	℃	800℃ 以上	996											
流入 燃焼ガス温度	焼却炉	℃	200℃ 以下	200											
一酸化炭素濃度	焼却炉	ppm	100ppm 以下	6											

単位:ppm(パーツ・パー・ミリオン)は、100万分の1を表し、主に濃度を表すために用いられる。1ppm=0.0001%

3. 冷却設備及び排気ガス設備に堆積したばいじんの除去した年月日

	焼却炉
冷却設備	
排気ガス設備	

4. 煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度

	単位	施設管理値	基準値	焼却炉
採取した年月日				
結果の得られた年月日				
ダイオキシン類測定結果	ng-TEQ/mN	0.1以下	5以下	

単位:ng(ナノグラム)は、10億分の1グラム

TEQは、ダイオキシン類の量を、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化シベンゾパラジオキサン類の毒性等量に換算した量として表した符号
mN(立法メートルノルマル)は、気温0℃、気圧が1気圧の状態に換算した気体の体積

5. ばい煙濃度の測定

	単位	施設管理値	基準値	焼却炉	
				1回	2回
採取した年月日					
結果の得られた年月日					
ばいじん濃度	g/m ³ N	0.01以下	0.15以下		
全硫黄酸化物	K値	0.2以下	17.5以下		
窒素酸化物濃度	ppm	150以下	250以下		
塩化水素濃度	mg/m ³ N	163以下	700以下		

単位:硫黄酸化物のK値は、硫黄酸化物の量、煙突の高さ、排ガス量等より算出
「-」表示は定量下限値未滿